

令和 5 年度 モニタリングシート

事業名	福岡市美術館リニューアル事業
事業所管課	経済観光文化局 美術館 事業管理課
PFI事業者	福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社
構成企業 ●は代表企業	株式会社大林組(●)、株式会社西日本新聞社、西鉄ビルマネジメント株式会社
協力企業	株式会社梓設計、株式会社西日本新聞イベントサービス、大日本印刷株式会社、株式会社ブライト・ウェイ、株式会社オークコーポレーション、株式会社ニューオータニ九州
事業期間(供用開始)	平成28年2月23日～令和16年3月31日 (平成31年3月21日～)

業務内容		令和5年度 業務実施内容		
維持管理業務	建築物保守管理業務／建築設備保守管理業務／施設備品等保守管理業務 植栽管理業務／清掃業務／警備業務／環境衛生管理業務	業務実施内容	要求水準の達成状況	良好
		・業務計画に基づき各業務を計画通り実施した。 【特記事項】 ・新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、館内の各種防疫対策を解除した。		
運営業務	利用者対応に関する業務(受付案内等、施設の貸出等) 事業に関する業務(常設展示、特別企画展等)／広報・集客に関する業務 館内サービスに関する業務(ミュージアムショップ・飲食施設運営)	業務実施内容	要求水準の達成状況	良好
		・業務計画に基づき各業務を計画通り実施した。 ・集客イベントとして、レガシーピアノの一般貸出を開始した。 ・12月にホームページをリニューアルした。 【特記事項】 ・入館者数はリニューアル以降過去最多となった。 ・独立採算事業であるカフェ・レストラン、ミュージアムショップの売上は、前年比では大幅に増加した。 ・新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、館内の各種防疫対策を解除した。 ・令和5年8月に台風6号による臨時休館があった。		

財務状況	令和5年度の財務状況	良好
	財務状況に異常は見当たらないが、光熱水費の変動が収益に影響を及ぼす可能性があり、SPCも懸念事項として認識している。その他、物価上昇傾向がみられるため、実際の費用と対価との乖離状況については、今後も注視が必要である。 独立採算事業については、SPCの財務状況には直接寄与しないものの、カフェ・レストラン、ミュージアムショップいずれも売上が増加している。今後も好調な運営が持続できるよう注視が必要である。	

所管課による評価
<p>本事業は運営6期目となるが、期間中における維持管理業務、運営業務について、要求水準どおり適切に実施されており、問題ないとする。</p> <p>財務状況についても、問題ないことが確認できた。</p>